

長岡技術科学大学学報

平成18年1月5日

総務部総務課

目次

学内規則	2	・公開講演会	24
人事	3	・21世紀COEプログラム国際シンポジウム(ハイブリッド超機能材料創成と国際拠点形成)	24
・人事異動	3	・長岡技術科学大学特許実務セミナー	24
会議	4	・公開講座	25
学事	10	・技術開発懇談会	25
・博士(工学)の学位授与	10	・(社)新潟県電子機械工業会大学見学会	25
・平成18年度第1学年学生募集要項(一般選抜の前期日程)(概要)	11	・長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク	25
・平成18年度第1学年学生募集要項(私費外国人留学生特別選抜)(概要)	14	・匠陵講演会	25
・平成18年度第1学年学生募集要項(帰国子女特別選抜)(概要)	17	・特別講演会	25
・平成18年度第2学年学生募集要項(ツインング・プログラム特別選抜)(概要)	19	・語学センター講演会	26
・平成18年度大学院技術経営研究科専門職学位課程(専門職大学院)学生募集要項(概要)	21	・「学習者等の視点に立った適切なe-Learningの在り方に関する調査研究」第1回事業推進委員会	26
・平成18年度第1学年(推薦)入学者選抜試験概況	23	・「学習者等の視点に立った適切なe-Learningの在り方に関する調査研究」第1回研究会	26
諸報	24	・第2回就職ガイダンス	26
・受賞関係	24	・交通安全講演会	26
・永年勤続者表彰	24	・学生指導研究会	26
・平成17年度職員レクリエーション行事「ボウリング大会」	24	・平成17年度サークルリーダー研修会	26
・セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会	24	・第7回長岡国際祭り	26
・AED(自動体外式除細動器)講習会	24	・平成17年度留学生等交流懇談会	26
・長岡技術科学大学・地元(深才地区)懇和会	24	・平成17年度科学研究費補助金交付決定一覧(追加分)	27
		・日誌	27

学 内 規 則

制定日 〔制定番号〕	学内規則等名	制定・改廃理由
平成 17 年 11 月 30 日 〔学則第 2 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 学則の一部を改正する学則	平成 17 年 9 月 9 日付け「学校教育法施行規則の一部を改正する省令（平成 17 年文部科学省令第 42 号）」に基づき、専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者に対して、大学院入学資格を与えることとしたこと、また、専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者に対して大学入学資格を与えることとしたことに伴い、所要の改正を行うこと。
平成 17 年 11 月 30 日 〔就業規則第 1 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 職員給与規則の一部を改正する 規則	閣議決定、国立大学法人法及び本学職員給与規則の規定等に基づき、本学職員の給与を社会一般の情勢に適合したものとなるように所要の改正を行うこと。
平成 17 年 11 月 30 日 〔就業規則第 2 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 初任給調整手当規程の一部を改 正する規程	職員給与規則を改正することに伴う所要の改正を行うこと。
平成 17 年 11 月 30 日 〔就業規則第 3 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 本給の調整額規程の一部を改正 する規程	職員給与規則の本給額を改定することによる所要の改正及び字句の修正を行うこと。
平成 17 年 11 月 30 日 〔就業規則第 4 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 職員兼業規程の一部を改正する 規程	兼業の申請手続の簡略化に伴い、所要の改正を行うこと。
平成 17 年 11 月 30 日 〔規則第 11 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 役員報酬規則の一部を改正する 規則	閣議決定、国立大学法人法等に基づき、社会一般の情勢に適合したものとなるように所要の改正を行うこと。
平成 17 年 11 月 15 日	国立大学法人長岡技術科学大学 の債券発生通知義務者を定める 要項の一部改正	中国内陸部人材育成事業研究員受入れに伴い、債券発生通知義務者の追加を行うこと。

人 事

人事異動

発令年月日	異動前の職名	氏 名	異 動 内 容
17.11.1	(採用)	土屋 哲	環境・建設系助手
17.12.31	機械系助教授	滑川 徹	辞職(1月1日付け国立大学法人金沢大学採用)
18.1.1	(採用)	佐藤 武史	生物系助手

人事異動(事務系職員)

発令年月日	異動前の職名	氏 名	異 動 内 容
17.11.2	学務部長	星野茂登一	学務部学生支援課長事務代理(命)
17.11.29	学務部長	星野茂登一	学務部学生支援課長事務代理(免)
17.11.30	総務部施設管理課施設整備係	加藤 香奈	辞職(12月1日付け大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館採用)
17.12.1	独立行政法人国立高等専門学校機構本部事務局施設課施設企画係主任	保坂 一成	総務部施設管理課施設整備係施設整備主任(採用)
17.12.31	総務部施設管理課施設企画係	長島 浩貴	辞職(1月1日付け国立大学法人筑波大学採用)
18.1.1	総務部会計課総務係	早川 和宏	総務部会計課総務係総務主任(昇任)
"	総務部会計課用度係	五十嵐 修	総務部会計課用度係用度主任(昇任)

人事異動(事務系職員)

発令年月日	異動前の職名	氏 名	異 動 内 容
17.11.1	(採用)	橘 修子	学務部学務課(教務補佐員)
17.11.10	(採用)	江口 由希	総務部総務課(事務補佐員)
18.1.4	(採用)	金安 宏美	学務部学務課(事務補佐員)

会 議

役員会

[第 22 回]

・日時 平成17年10月19日(水) 11時

- 議題 1. 平成 18 年度学内予算編成基本方針(案)について
2. 給与改定方針について

[第 23 回]

・日時 平成17年11月16日(水) 11時

- 議題 1. 学則の改正について
2. 平成 18 年度学内予算編成基本方針(案)について
3. 職員就業規則の改定について
4. 役員報酬規則の改正について

[第 24 回]

・日時 平成17年12月14日(水) 11時10分

- 議題 1. 専門職大学院の設置について
2. 博士後期課程生物統合工学専攻の入学料、授業料等について

第 6 回経営協議会

・日時 平成17年10月27日(木) 13時15分

- 議題 1. 平成 18 年度学内予算編成基本方針(案)について
2. 給与改定方針(案)について

第 5 回学長選考会議

・日時 平成17年10月27日(木) 15時30分

- 議題 1. 学長選考について

第 2 回開学 30 周年記念事業実行委員会

・日時 平成17年10月 5 日(水) 14時35分

- 議題 1. 企業募金への対応について

開学 30 周年記念事業実行委員会同窓会部会

[第 4 回]

・日時 平成17年11月 4 日(金) 15時30分

- 議題 1. 同窓会部会の企画について

[第 5 回]

・日時 平成17年12月26日(月) 15時30分

- 議題 1. 同窓会部会の企画について

教育研究評議会

[第 22 回]

・日時 平成17年10月 5 日(水) 13時30分

- 議題 1. 教員の選考について
2. 教員選考委員会の設置について
3. 助手の選考について

[第 23 回]

・日時 平成17年10月26日(水) 13時30分

- 議題 1. 教員選考委員会の設置
2. 高等専門学校との連携教育に係る非常勤講師(客員助教授)の選考について
3. 「国立循環器病センター」及び「松下電工株式会社 先行技術開発研究所」との連携大学院の実施について

[第 24 回]

・日時 平成17年11月30日(水) 13時30分

- 議題 1. 学則の改正について
2. 教員の選考について
3. 助手の選考について
4. 連携大学院に係る非常勤講師(客員助教授)の選考について

教授会(教授、助教授及び講師)

[第 332 回]

・日時 平成17年10月12日(水) 13時30分

- 議題 1. 大学以外の教育施設等における学修成果の単位認定について
2. 単位互換協定に基づく派遣学生の単位認定について
3. 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

[第 333 回]

・日時 平成17年11月 9 日(水) 13時30分

- 議題 1. 「国立循環器病センター」及び「松下電工株式会社 先行技術開発研究所」との連携大学院の実施について

[第 334 回]

・日時 平成17年12月 7 日(水) 13時30分

- 議題 1. 平成 18 年度 第 1 学年(推薦)入学者選抜試験合格者の選考について
2. 大学院工学研究科修了者(12月)の認定について
3. 論文博士の学位授与について
4. 平成 18 年度大学院進学予定者の

うち「実務訓練」に替えて「課題研究」を履修する者について

教授会（教授）

〔第332回〕

・日時 平成17年10月12日(水) 14時58分

- 議題 1. 教員の選考について
2. 教員選考委員会の設置について
3. 助手の選考について

〔第333回〕

・日時 平成17年11月9日(水) 15時

- 議題 1. 教員選考委員会の設置について
2. 高等専門学校との連携教育に係る非常勤講師（客員助教授）の選考について

〔第334回〕

・日時 平成17年12月7日(水) 14時50分

- 議題 1. 教員の選考について
2. 助手の選考について
3. 連携大学院に係る非常勤講師（客員助教授）の選考について

評価室会議教員評価部会

〔第2回〕

・日時 平成17年12月15日(木) 9時10分

- 議題 1. 教員評価について

〔第3回〕

・日時 平成17年12月28日(水) 13時05分

- 議題 1. 教員評価について

広報委員会VOS専門部会

〔第4回〕

・日時 平成17年11月24日(木) 13時30分

- 議題 1. VOS 131号の企画について

〔第5回〕

・日時 平成17年12月12日(月) 10時30分

- 議題 1. VOS 132号の企画について
2. VOS 133号の企画について

第4回広報委員会高専広報専門部会

・日時 平成17年12月27日(火) 15時

- 議題 1. 今年度の執行部における広報活動について
2. 今年度の高専訪問・出前授業の実施状況及び2次配分について
3. 平成18年度における高専広報部会について

4. 代表窓口教員の選出について

5. 平成18年度用高専学生アンケートについて

6. 「学生が書いた研究室ガイドブック」の改訂版発行に伴う校正について

安全衛生管理委員会

〔第7回〕

・日時 平成17年10月19日(水) 13時35分

- 議題 1. 石綿の措置状況等に関する調査について
2. 学生の実験中における負傷について
3. 安全パトロールの実施計画について
4. レーザー機器装置の設置状況等調査について

〔第8回〕

・日時 平成17年11月24日(木) 13時40分

- 議題 1. 石綿の措置計画に関する調査結果等について
2. 安全自主点検の実施について
3. レーザー機器装置の設置状況等の報告について
4. 裁量労働従事者の健康状態自己診断の実施について
5. 特定業務従事者の健康診断結果について

〔第9回〕

・日時 平成17年12月26日(月) 13時30分

- 議題 1. 石綿を使用する実験器具の廃棄等について
2. 年末年始における安全確保について

施設環境委員会

〔第76回〕

・日時 平成17年11月8日(火) 13時30分

- 議題 1. スペースチャージ料・共用スペース使用料の用途について
2. 平成17年度工事計画について

〔第77回〕

・日時 平成17年12月21日(水) 16時30分

- 議題 1. 共用スペースの利用許可について
2. 構内サインの策定について

第3回研究委員会

- ・日時 平成17年12月21日(水) 13時30分
- 議題 1. 研究レビューの発行について
- 2. 平成18年度長岡技術科学大学言語・人文科学論集(第20号)の投稿について
- 3. 平成18年度「公開講座」、「高度技術者研修」、「技術開発懇談会」の実施について
- 4. 年度計画について

テクノインキュベーションセンター運営委員会

〔第2回〕

- ・日時 平成17年10月4日(火) 13時
- 議題 テクノインキュベーションセンター事業計画について
- (1)にいがた産学交流フェア2005について
- (2)テクノインキュベーションセンター新春トーク(案)について
- (3)テクノインキュベーションセンターキャンパスインキュベーション支援事業について
- (4)テクノインキュベーションセンターニュースNO.7の発行について

〔第3回〕

- ・日時 平成17年12月21日(水)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 平成18年度テクノインキュベーションセンター所要見込額について
- 2. テクノインキュベーションセンターニュースNO.8の発行について

産学官連携・知的財産本部連絡調整会議

〔第3回〕

- ・日時 平成17年10月11日(火) 13時
- 自由討議
本学におけるTLO機能のあり方について

〔第4回〕

- ・日時 平成17年11月24日(木)
(持ち回り議決日)
- 議題 本学特許のJ-STOREへの情報提供について

〔第5回〕

- ・日時 平成17年12月9日(金) 13時

意見交換

株式会社新潟ティーエルオーへの出資について

第4回技術開発センター運営委員会

- ・日時 平成17年12月26日(月) 13時
- 議題 1. 技術開発センタープロジェクト申請について

教務委員会

〔第7回〕

- ・日時 平成17年10月3日(月) 13時30分
- 議題 1. 大学以外の教育施設等における学修成果の単位認定について
- 2. 単位互換協定に基づく派遣学生の単位認定について
- 3. 学位論文審査付託にかかる審査委員の指名について
- 4. 単位互換協定に基づく特別聴講学生の派遣について

〔第8回〕

- ・日時 平成17年10月21日(金) 13時
- 議題 1. 平成18年度学年暦について
- 2. 平成18年度学年始めの日程について
- 3. 学部学生の大学院授業科目の履修について
- 4. 高専との連携教育に係る非常勤講師(客員助教授)の選考について
- 5. 国立循環器病センター等との連携大学院の実施について

〔第9回〕

- ・日時 平成17年11月25日(金) 13時30分
- 議題 1. 大学院修了者(12月修了者)の認定について
- 2. 論文博士の学位授与について
- 3. 大学院学生の指導教員の変更について
- 4. 平成18年度入学者用教育課程について
- 5. 平成18年度ティーチング・アシスタント実施計画について
- 6. 第2・3学期開講科目の成績報告について
- 7. 連携大学院に係る非常勤講師(客員助教授)の選考について

8. 「実務訓練」に替えて「課題研究」を履修する者について

教務委員会教育課程専門部会

〔第4回〕

- ・日時 平成17年10月17日(月) 15時30分
- 議題 1. 平成18年度学年暦について
2. 平成18年度学年始めの日程について
3. 平成18年度入学者用教育課程について
4. 平成18年度授業時間割表の作成について

〔第5回〕

- ・日時 平成17年11月24日(木) 10時30分
- 議題 1. 平成18年度入学者用教育課程について
2. 平成18年度非常勤講師による授業実施計画について
3. 平成18年度授業時間割表について
4. 平成18年度ティーチング・アシスタント実施計画について
5. 平成18年度授業科目概要(シラバス)の作成について

〔第6回〕

- ・日時 平成17年12月22日(木) 14時40分
- 議題 1. 平成18年度入学者用教育課程(修正)について
2. 平成18年授業時間割表の修正について
3. 単位互換協定に係る特別聴講学生の履修可能科目について

第5回教務委員会教養教育等専門部会

- ・日時 平成17年11月14日(月) 10時30分
- 議題 1. 来年度教養教育カリキュラムの具体化・履修案内改訂案について
2. 基礎学力向上策について
3. 来年度大学運営に関わる大学執行部への要請について
4. 本年度FD活動の具体化について

第2回将来計画委員会高等学校との連携強化部会

- ・日時 平成17年10月17日(月) 10時30分
- 議題 1. 平成17年度の高大連携事業につ

いて

- 2. 平成18年度の高大連携事業方針について
- 3. サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)報告会について
- 4. その他

第4回実務訓練委員会

- ・日時 平成17年11月17日(木)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 実務訓練から課題研究への切替えについて

学生委員会

〔第5回〕

- ・日時 平成17年10月11日(火) 15時30分
- 議題 1. 平成17年度9月入学者の入学料免除者の選考について
2. 平成17年度学生宿舍入居者の選考について

〔第6回〕

- ・日時 平成17年11月11日(金) 10時30分
- 議題 1. 平成17年度後期授業料免除者の選考について
2. 平成18年度日本学生支援機構大学院奨学生採用候補者の選考について
3. 平成18年度学生宿舍入居者の選考について
4. 平成18年度国際学生宿舍入居者の選考について
5. 学生団体設立許可について
6. 平成18年度学生行事について
7. 平成18年度学生生活ガイドブックの作成について
8. 平成18年度新入生合宿研修の実施について
9. 今後における入学料・授業料のあり方について

〔第7回〕(eメールにて開催)

- ・日時 平成17年12月7日(水)
- 議題 1. 教育給与奨学生(冬期プログラム)の選考について

第1回就職委員会

- ・日時 平成17年12月15日(木) 9時
- 議題 1. 平成18年度就職関係冊子の作成に

について

2. 各系就職ガイダンスについて
3. 学内合同企業説明会の実施について
4. 就職・進学内定(決定)届について
5. 就職担当教員について

学術国際委員会

〔第9回〕

- ・日時 平成17年10月3日(月) 13時30分
- 議題 1. 長岡技術科学大学とチュラロンコン大学薬学部(タイ)との学術交流に関する協定及び学生交流に関する覚書について
- 2. 外国人研究者の受入れについて
- 3. 中国内陸部人材育成事業研修員の受入れについて
- 4. 長岡技術科学大学と外国の大学等との国際学術交流協定の取扱いについて
- 5. プロジェクト経費の募集について
- 6. 日本国際教育大学連合と東北大学(中国)との情報工学系の Dual Bachelors Degree Program について

〔第10回〕

- ・日時 平成17年11月14日(月) 10時
- 議題 1. 長岡技術科学大学とチュラロンコン大学薬学部(タイ)との学術交流に関する協定及び学生交流に関する覚書について
- 2. 長岡技術科学大学とマラ技術大学(マレーシア)との学術交流に関する協定について
- 3. 長岡技術科学大学と鄭州大学(中国)との学術交流に関する協定及び学生交流に関する覚書について
- 4. 長岡技術科学大学と鄭州大学(中国)とのツィニングプログラム開設に関する覚書について
- 5. 国立大学法人長岡技術科学大学国際交流に係る学生の滞在費・渡航費補助の支給に関する取扱いについて
- 6. 国際交流経費プロジェクトの追加募集について
- 7. 国際交流の基本方針について

〔第11回〕

- ・日時 平成17年11月28日(月)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学と鄭州大学(中国)とのツィニングプログラム開設に関する覚書について
- 2. 長岡技術科学大学とマラ工科大学(マレーシア)との学術交流に関する協定について
- 3. 外国人研究者の受入れについて

〔第12回〕

- ・日時 平成17年12月14日(水)
(持ち回り議決日)
- 議題 1. 長岡技術科学大学とハノイ工科大学(ヴィエトナム)との共同博士プログラム開設に関する覚書について
- 2. 長岡技術科学大学とホーチミン市工科大学(ヴィエトナム)との教育連携プログラム開設に関する覚書について

第3回ハノイ工科大学とのツィニング・プログラム推進室会議

- ・日時 平成17年10月7日(金) 10時30分
- 議題 1. コンソーシアム会議について
- 2. 前半教育に対するサポートについて

第5回留学生委員会

- ・日時 平成17年11月29日(火) 9時30分
- 議題 1. 国際交流会館入居者の入居者資格について
- 2. 海外留学フェアについて

入学試験委員会

〔第8回〕

- ・日時 平成17年10月11日(火) 10時30分
- 議題 1. 平成18年度第1学年選抜評価要領の一部改正について
- 2. 平成18年度第1学年入学者選抜試験(推薦)委員等の決定について
- 3. 平成18年度第1学年(推薦)入学者選抜試験実施要領(案)等について
- 4. 平成18年度大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程入学者選抜試験取扱要領の一部改正(案)について

5. 個人成績の開示内容について

〔第9回〕

- ・日時 平成17年11月8日(火) 10時30分
- 議題 1. 学則の改正(案)について
2. 平成18年度第1学年(一般選抜・前期日程)入学者選抜試験委員の決定について
3. 平成18年度大学入試センター試験監督者等の決定について
4. 平成18年度第2学年(ツイニング・プログラム特別選抜)学生募集要項(案)等について
5. 平成19年度第3学年入学者選抜試験の実施方法について
6. 修士課程入学者選抜試験日程について

〔第10回〕

- ・日時 平成17年12月6日(火) 10時30分
- 議題 1. 平成18年度第1学年(推薦)入学者選抜試験合格者の選考について
2. 平成19年度入学者選抜試験日程(案)について
3. 博士後期課程入学者選抜試験(第2次募集)における海外在住者の学力試験について
4. 平成18年度第1学年(一般・前期日程、帰国子女特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜)入学者選抜試験監督要領(案)等について
5. 平成18年度大学入試センター試験実施要領(たたき台)等について
6. 平成18年度大学院工学研究科博士後期課程に進学を希望する者のうち、事情により第1次選考を受験しなかった者の取扱いについて
7. 平成18年度大学院工学研究科博士後期課程専攻の新設について(案)
8. 平成18年度長岡技術科学大学大学院技術経営研究科(専門職大学院)システム安全専攻学生募集要項(案)について

開学30周年記念事業記念誌出版事業部会

〔第4回〕

- ・日時 平成17年10月17日(月) 13時30分
- 議題 1. 「長岡技術科学大学30周年記念

誌」(仮称)項目について

2. 「長岡技術科学大学30周年記念誌」(仮称)原稿の作成要項について
3. 原稿依頼から校正について

〔第5回〕

- ・日時 平成17年11月14日(月) 13時30分
- 議題 1. 「長岡技術科学大学30周年記念誌」(仮称)項目について
2. 懸賞論文事業作業日程について

学 事

博士（工学）の学位授与

大学院工学研究科博士課程修了によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博甲第 351 号	Le Chi Kien	平成 17 年 12 月 31 日	Efficient MHD Power Generation System for Utilization of Nuclear Energy (核エネルギー利用高効率MHD発電システム)

論文提出によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博乙第 244 号	生田目 康 子	平成 17 年 12 月 7 日	ハイブリッド型 e ラーニングにおける学習履歴データの有効活用に関する研究
博乙第 245 号	藤 田 毅	平成 17 年 12 月 7 日	高炭素鋼板の組織制御による加工性向上
博乙第 246 号	玉 光 賢 次	平成 17 年 12 月 7 日	低電圧アルミ電解コンデンサ駆動用電解液に関する研究

平成18年度第1学年学生募集要項（一般選抜の前期日程）（概要）

1 募集人員、募集の方法等

(1) 募集人員

学部	課 程	募 集 人 員
		前 期 日 程
工学部	機械創造工学課程	40人
	電気電子情報工学課程	
	材料開発工学課程	
	建設工学課程	
	環境システム工学課程	
	生物機能工学課程	
	経営情報システム工学課程	

(2) 募集の方法

課程を区別せず一括して入学者を募集します。

(3) 所属課程の決定

入学後、第1学年の第2学期に行います。

なお、志望が偏り、課程の定員を超えたときは、入学後の学業成績によって決定します。

2 出願資格及び出願要件

次のいずれかに該当する者で、平成18年度大学入試センター試験において本学が指定する教科・科目を受験した者としてします。

なお、平成18年度大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目については、5ページ(2)「選抜の方法」を参照してください。

(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成18年3月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成18年3月修了見込みの者

(3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成18年3月31日までに、これに該当する見込みの者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成18年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成18年3月31日までに修了見込みの者

ウ 文部科学大臣の指定した者

エ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定期程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成18年3月31日までに合格見込みの者で、平成18年3月31日までに18歳に達するもの

(4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものと及び平成18年3月31日までに18歳に達するもの

注1．本学は、分離・分割方式の「前期日程」で個別学力検査等を実施します。

したがって、「本学の前期日程」に出願する者は、他の国公立大学（「国際教養大学を除く。」以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。

注2．本学の「前期日程」に合格し、平成18年3月15日（水）までに入学手続を完了した者は、他の国公立大学の「後期日程」を受験しても、その合格者とはなりません。

また、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されることとなります。

注3．他の国公立大学の推薦入学合格者は、当該国公立大学が定める「推薦入学辞退手続」により、入学辞退が認められていない限り、本学の個別学力検査を受験しても入学許可は得られません。

注4．本学では、大学入試センター試験の前年度成績は利用できません。

注5．(4)に該当する者については、必ず事前に本学入学試験第1係へ問い合わせのうえ、所定の書類を速やかに提出してください。

申請対象者：大学入試センター試験受験後に本学への出願を希望する者
 申請期限：大学入試センター試験実施後からその翌々日まで《必着》

3 出願手続・選抜方法等について

(1) 出願手続等

願書受付期間

平成18年1月30日(月)～平成18年2月7日(火)(期間内必着)

(注) 願書は、受付期間内に必ず届くよう、余裕をもって書留・速達郵便にて発送してください。
 持参の場合、受付時間は9:00～17:00です。(土曜日、日曜日は除きます。)

出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
1 入学志願票(水色)	必要事項を本人が記入してください。
2 写真票・受験票・検 定料振込済証明書貼 付票 (水色)	写真は、正面上半身無帽(縦40 [㍉] ×横30 [㍉])で、出願以前3か月以内に撮 影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料 (本学所定の検定料振 込依頼書により振 込)	17,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関(郵便局を除く。)に振り込みのう え、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定 料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。なお、「受取 込依頼書により振 込」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関(郵便局を除く。)の受付窓口での振り込みに限 ります。(ATMは使用不可。) 検定料の納入は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。
4 大学入試センター試 験成績請求票	「平成18センター試験成績請求票(前 前期日程用)」を入学志願票の 所定欄にはり付けてください。
5 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 ただし、1ページ「2 出願資格及び出願要件の(3)ア、ウ、エ」に該当 する者には、成績証明書を提出してください。
6 あて名票 (水色)	合格通知、その他の通知に使用しますので、4か所すべてに所要事項を記 入してください。
7 返信用封筒 (水色)	本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、350円分の切手をはり付けてくださ い。受験票等の送付に使用します。
8 その他	
(1) 受験許可書	出願時に、大学に在学中の者は、受験許可書を提出してください。
(2) 資格を証明する 書類	1ページ「2 出願資格及び出願要件の(3)(4)」に該当する者にあっ ては、その資格を証明する書類を提出してください。
(3) 合格者受験番号 一覧表申込票 (水色)	合格発表当日(遅くとも翌日)に結果を知りたい志願者(希望者のみ) は、住所・氏名・郵便番号・電話番号を記入し580円分の切手をはって申し 込んでください。申込者に対して、電子郵便で「合格者受験番号一覧表(前 期日程)」を送付します。 なお、未着の場合は、長岡西郵便局(電話0258-46-2050)に問い合わせ てください。

本学への「出願志望順位」、「併願する他の国公立大学・学部・学科(コース)」についての調査
 本学への出願が「第一志望」、「第二志望」のいずれであるか、また「併願する他の国公立大学・学部・学
 科(コース)」について、入学志願票の所定欄に記入してください。

なお、この調査は入学者数予測のための基礎資料であり、受験生個人の選抜(合否の判定)資料とし
 ては一切使用しません。

(注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

(2) 選抜の方法

「大学入試センター試験」及び本学が実施する「個別学力検査」の総合点により行います。
 また、出身学校長が提出した「調査書又は成績証明書」は、選抜の基礎資料とします。
 なお、課せられた教科等の試験を、すべて受験しなければ失格とします。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目		受験を要する教科・科目数	
国 語	「国語」(近代以降の文章)	6教科7科目	
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」		
公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」		
数 学	「数学・数学A」		必 須
	「数学・数学B」 『工業数理基礎』 『簿記・会計』 『情報関係基礎』		のうちか ら1科目 選択
			計2科目
理 科	「物理」 ₁ 、「化学」 ₁ 「生物」 ₁	のうちか ら2科目 選択	
外国語	「英語」 ₁ 、「ドイツ語」 ₁ 「フランス語」 ₁ 、「中国語」 ₁ 「韓国語」 ₁	のうちか ら1科目 選択	

(注1) 『工業数理基礎』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』を受験できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程において当該科目を履修した者（見込みを含む。）に限ります。

(注2) 外国語において「英語」を選択する者は、筆記とリスニングの双方を受験してください。

(注3) 理科において、機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程を志望する者は、「物理」を選択することが望ましい。

個別学力検査教科・科目

1) 数学(数・数・数)(必須)

2) 理科(受験する「科目」を、下表から選択し、入学志願票の所定欄に記入してください。)

教科等	科 目 名 等
理 科	物 理 ・ 物 理 化 学 ・ 化 学 生 物 ・ 生 物
	3科目のうちから 1科目選択

(注1) 「数・数・数」は、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。

(注2) 「物理」のうち、「原子、電子と物質の性質」及び「原子と原子核」は出題範囲から除きます。

(注3) 「化学」のうち、「生活と物質」及び「生命と物質」を出題する場合は、いずれかを選択して解答できるよう出題します。

(注4) 「生物」のうち、「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題する場合は、いずれかを選択して解答できるよう出題します。

配 点

区 分	教 科					
	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	計
大学入試センター試験	100	(注1) 100	200	(注1) 200	(注2) 200	800
個別学力検査			150	150		300

(注1) 大学入試センター試験の「地理歴史」と「公民」から2科目を受験した場合は、高得点の1科目の成績を採用します。

また、「理科」の3科目を受験した場合は、高得点の2科目の成績を採用します。

(注2) 外国語「英語」は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に換算します。

(3) 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成18年2月25日(土)	数 学	10:00~11:30 (90分)	長岡技術科学大学
	理 科	13:00~14:30 (90分)	

(4) 合格者の発表

平成18年3月7日(火) 午前10時

本学に受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。(電話等による可否の照会には、一切応じません。)

また、情報提供サービスの一環として、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

試験前日又は試験当日、最寄りの駅又は試験場周辺等で合格発表等に関する勧誘については、本学とは何ら関係のないものであり、これらのことから生じるトラブルに対して、本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

平成18年度第1学年学生募集要項(私費外国人留学生特別選抜)(概要)

1 募集人員

学 部	課 程	募集人員
工学部	機械創造工学課程	若 干 人
	電気電子情報工学課程	若 干 人
	材料開発工学課程	若 干 人
	建設工学課程	若 干 人
	環境システム工学課程	若 干 人
	生物機能工学課程	若 干 人
	経営情報システム工学課程	若 干 人

2 出願資格及び出願要件

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成17年度日本留学試験(第1回または第2回。出題教科は、日本語、数学[コース2]、理科[2科目自由選択]の3教科4科目。)を受験している者のうち、次のいずれかに該当する者とします。

(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成18年3月31日までに修了見込みの

者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者

(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者

(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者

1 なお、上記(1)から(4)のいずれの場合も、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は大学入学後に当該資格を取得可能な者であることが必要です。

2 入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず事前に本学入学試験第1係に電話・郵便等により照会してください。

3 「日本留学試験」については、下記「日本学生支援機構」へ照会してください。

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 (TEL 03-6407-7457)

3 志望課程の選定

(1) 第1志望の課程

入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。

(2) 第2志望の課程

第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

4 出願手続

(1) 願書受付期間

平成18年1月30日(月)～平成18年2月7日(火)(期間内必着)

(注) 願書は、受付期間内に必ず着くよう、余裕をもって書留・速達郵便にて発送してください。持参の場合、受付時間は9:00～17:00です。(土曜日、日曜日は除きます。)

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	適 用
1 入学志願票	必要事項を本人が記入してください。
2 写真票・受験票・検定料振込済証明書貼付票	写真は、正面上半身無帽(縦40 ^{ミリ} ×横30 ^{ミリ})で、出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料 (本学所定の検定料振込依頼書により振込)	17,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関(郵便局を除く。)に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関(郵便局を除く。)の受付窓口での振り込みに限ります。(ATMは使用不可。) 検定料の納入は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。
4 「日本留学試験」の成績通知書(写)	独立行政法人日本学生支援機構が発行した「平成17年度日本留学試験」の成績通知書の写し。
5 「日本留学試験」の受験票(写)	独立行政法人日本学生支援機構が発行した「平成17年度日本留学試験」の受験票の写し。
6 成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。
7 志望調査書	必要事項を本人が日本語で記入してください。
8 入学資格に関する証明書	最終出身学校の卒業証明書又は卒業見込証明書及び前記「2 出願資格及び出願要件」の(2)～(4)に該当する者は、該当する資格証書の写し。
9 健康診断書 (海外在住者のみ必要)	医療機関の医師が作成したもので、視力、聴力、胸部X線検査、疾病及び異常が記入されたもの。 様式は自由です。

10 登録原票記載事項証明書	市区町村長から交付された、在留資格が明示されたもの。 なお、出願書類には、必ず、この証明書記載の氏名を用いてください。
11 返信用封筒	長型3号(120 [≒] ×235 [≒])を使用し、本人の住所、氏名、郵便番号を明記し、350円分の切手をはり付けてください。 (受験票等の送付に使用します。)

(3) 出願書類の提出等

出願書類等は、角型2号(240[≒]×330[≒])の封筒を使用し、下記あて先まで郵送又は持参してください。

(注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

5 選抜の方法

入学者の選抜は、本学が実施する「個別学力検査」、日本学生支援機構が実施する「平成17年度日本留学試験」の各結果を総合して判定します。「面接」及び出身学校長が提出した「成績証明書」は、選抜の基礎資料とします。

なお、「平成18年度大学入試センター試験」は受験を要しません。

また、課せられた教科等の試験を、すべて受験しなければ失格とします。

(1) 個別学力検査教科・科目

数学(数・数・数)(必須)

理科(物理・物理、化学・化学、生物・生物)の3科目から1科目選択)

英語(必須)

(2) 面接

個人面接を行い、人物・適性について評価し、選抜の基礎資料とします。

(3) 配点

個別学力検査の配点は、次のとおりです。

区 分 \ 教 科	日本語	数学	理科	英語	計
日本留学試験	400	200	200		800
個別学力検査		150	150	100	400

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成18年2月25日(土)	数 学	10:00~11:30 (90分)	長岡技術科学大学
	理 科	13:00~14:30 (90分)	
	英 語	15:00~16:00 (60分)	
	面 接	16:30~	

7 健康診断(海外在住者のみ必要)

提出された「健康診断書」により審査します。(選抜には使用しません。)

ただし、更に精密な診断が必要と認められた受験者に対しては、試験当日に再検診を行います。再検診を行う者には、おって文書で指示します。

8 合格者の発表

平成18年3月7日(火) 午前10時

本学において、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。(電話等による可否の照会には、一切応じません。)

また、情報提供サービスの一環として、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

平成18年度第1学年学生募集要項(帰国子女特別選抜)(概要)

1 募集人員

学 部	課 程	募集人員
工学部	機械創造工学課程	若 干 人
	電気電子情報工学課程	若 干 人
	材料開発工学課程	若 干 人
	建設工学課程	若 干 人
	環境システム工学課程	若 干 人
	生物機能工学課程	若 干 人
	経営情報システム工学課程	若 干 人

2 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次のいずれかに該当する者。

(1) 外国において、学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。)を平成16年4月1日から平成18年3月31日までに卒業(修了)し、又は卒業(修了)見込みの者で、外国において、最終学年を含め2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。

ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成16年又は平成17年に授与された者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。

(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成16年又は平成17年に授与された者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。

(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成16年又は平成17年に授与された者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。

「帰国子女」として入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず事前に本学入学試験第1係に電話・郵便等により照会してください。

3 志望課程の選定

(1) 第1志望の課程

入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。

(2) 第2志望の課程

第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

4 出願手続

(1) 願書受付期間

平成18年1月30日(月) ~ 平成18年2月7日(火)(期間内必着)

(注) 願書は、受付期間内に必ず届くよう、余裕をもって書留・速達郵便にて発送してください。持参の場合、受付時間は9:00~17:00です。(土曜日、日曜日は除きます。)

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	適 用
1 入学志願票	必要事項を本人が記入してください。
2 写真票・受験票・検定料振込済証明書貼付票	写真は、正面上半身無帽(縦40 ^{ミリ} ×横30 ^{ミリ})で、出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料 (本学所定の検定料振込依頼書により振込)	17,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関(郵便局を除く。)に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取

	り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。 なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関（郵便局を除く。）の受付窓口での振り込み に限ります。（ＡＴＭは使用不可。） 検定料の納入は願書受付期間の始まる３週間前から行えます。
4 身上記録	必要事項を本人が記入してください。
5 卒業（修了）証明 又は同見込証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。
6 成績証明書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、日本の高等学校に在学したことがある場合は、在学した高等学校長 が作成した所定の「調査書」も、併せて提出してください。
7 入学資格に関する 証明書	前記「2 出願資格」（２）から（４）に該当する者は、該当する資格証 書の写し及び最終試験科目の成績評価証明書を提出してください。
8 統一試験等の成績証明書	諸外国の国家試験等（アメリカ合衆国のSAT、イギリスのGCE等） を受験している者は、その試験の成績証明書を提出してください。
9 推薦書	最終出身学校長が作成し、厳封したもの。
10 健康診断書 （海外在住者のみ必要）	医療機関の医師が作成したもので、視力、聴力、胸部X線検査、疾病 及び異常が記入されたもの。 様式は自由です。
11 志望調書	必要事項を本人が記入してください。
12 登録原票記載事項証明書	外国籍を有する者のみ提出してください。 「永住者」の在留資格が明示されているもの。
13 返信用封筒	長型3号(120 [≒] ×235 [≒])を使用し、連絡先の住所・氏名・郵便番号を 明記のうえ、350円分の切手をはり付けたもの。（受験票等の送付に使用し ます。）

（注）外国の学校又は機関が作成した書類（成績証明書及び推薦書を除く）については、必ず、日本語訳を添付してください。

（３）連絡先(日本国内)の設定

迅速、確実に送付するため、入学志願票に記載された日本国内の連絡先あてに、受験票、合格通知書及び入学手続書類等を送付しますので、十分配慮のうえ設定してください。

（４）出願書類の提出等

出願書類等は、角型2号(240[≒]×330[≒])の封筒を使用し、下記あて先まで郵送又は持参してください。

（注１）提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

（注２）振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

5 選抜の方法

入学者の選抜は、本学が実施する個別学力検査の結果により判定します。「面接」及び最終出身学校から提出された「推薦書」、「成績証明書」は、選抜の基礎資料とします。

なお、「平成18年度 大学入試センター試験」は受験を要しません。

また、課せられた教科等の試験を、すべて受験しなければ失格とします。

（１）個別学力検査

数 学（数 ・ 数 ・ 数 ）（必須）

理 科（物理 ・ 物理 、 化学 ・ 化学 、 生物 ・ 生物 の3科目から1科目選択）

（２）面 接

個人面接を行い、人物・適性について評価し、選抜の基礎資料とします。

（３）配 点

個別学力検査の配点は、次のとおりです。

区分 \ 教科	数 学	理 科	計
個別学力検査	150	150	300

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成18年2月25日(土)	数 学	10:00~11:30(90分)	長岡技術科学大学
	理 科	13:00~14:30(90分)	
	面 接	15:00~	

7 健康診断（海外在住者のみ必要）

提出された「健康診断書」により審査します。（選抜には使用しません。）
 ただし、更に精密な診断が必要と認められた受験者に対しては、試験当日に再検診を行います。
 再検診を行う者には、おって文書で指示します。

8 合格者の発表

平成18年3月7日(火) 午前10時

本学において、合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。（電話等による合否の照会には、一切応じません。）

また、情報提供サービスの一環として、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。
 長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

平成18年度第2学年学生募集要項（ツイニング・プログラム特別選抜）（概要）

1 募集人員

学 部	課 程	募集人員
工学部	機械創造工学課程	若 干 人
	電気電子情報工学課程	若 干 人
	材料開発工学課程	若 干 人
	建設工学課程	若 干 人
	環境システム工学課程	若 干 人
	生物機能工学課程	若 干 人
	経営情報システム工学課程	若 干 人

2 出願資格及び出願要件

マレーシア教育省が認める正規の高等教育機関である「JAD」(Japanese Associate Degree Program)の大学1年次を修了した者又は修了見込みの者。

3 志望課程の選定

入学志願者は、前記「1 募集人員」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。

4 出願手続

(1) 願書受付期間

平成18年1月30日(月)～平成18年2月7日(火)(期間内必着)

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	適 用
1 入学志願票	必要事項を本人が日本語で記入してください。
2 受験票・検定料振込済証明書貼付票	写真は、正面上半身無帽(縦4×横3cm)で出願以前3カ月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。

3 検定料 (本学所定の検定料振込依頼書により振込)	30,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関(郵便局を除く。)に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。 なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関(郵便局を除く。)の受付窓口での振り込みに限ります。(ATMは使用不可。) 検定料の納入は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。
4 志望調書	本学を志望する理由を本人が日本語で記入してください。
5 入学資格に関する証明書	「JAD」(Japanese Associate Degree Program)における成績証明書及び「SPM試験」の成績証明書。(英文で作成したもの)
6 健康診断書	出願以前3か月以内に受診し、医師が作成し厳封したもの。

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、アジア科学教育経済発展機構(ASIA SEED INSTITUTE)において、必要書類等がすべて揃っていることを確認し、同機構を通じて、長岡技術科学大学へ提出してください。

(注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

5 選抜の方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験により行います。

面接試験は、人物・適性について評価します。(志望課程に関係する試問を行うことがあります。)

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	教科等	時 間	場 所
平成18年2月25日(土)	面 接	13:30~	長岡技術科学大学

7 健康診断

提出された「健康診断書」により審査します。(選抜には使用しません。)

ただし、更に精密な診断が必要と認められた受験者に対しては、試験当日に再検診を行います。

再検診を行う者には、おって文書で指示します。

8 合格者への発表

平成18年3月7日(火) 午前10時

合格者には上記日時に、アジア科学教育経済発展機構(ASIA SEED INSTITUTE)気付で「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を送付します。(電話等による合否の照会には、一切応じません。)

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

平成 18 年度大学院技術経営研究科専門職学位課程（専門職大学院）学生募集要項（概要）

1. 募集人員 システム安全専攻 15 名

2. 出願資格

下記 ~ のいずれかの条件をみたす者で、平成 18 年 3 月 31 日において、企業等で 2 年以上職員として勤務経験があり、主として在職している者。また、在職者は、出願時に所属長の推薦状、就学許可証を提出できる者。

大学を卒業した者及び平成 18 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

大学評価・学位授与機構において、学士の学位を授与された者

平成 18 年 3 月までに、短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了及び大学評価・学位授与機構において学士の学位を授与される見込みの者

外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 18 年 3 月までに修了見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 18 年 3 月までに修了見込みの者

文部科学大臣の指定した者

本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者及び平成 18 年 3 月 31 日において、24 歳に達する者

（注） 上記 に該当する者については、必ず事前に本学入学試験第 1 係へ問い合わせのうえ、次の書類を提出してください。

（出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等を総合的に審査します。）

- ・ 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・ 学習歴を証明する書類（卒業証明書及び成績証明書等）
- ・ 実務経験及び国際的活動経験等を表す書類の写し（論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）

3. 出願手続

（1）願書受付期間

平成 18 年 1 月 23 日（月）～平成 18 年 1 月 26 日（木）[期間内必着]

（2）出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
1 入学志願票	必要事項を本人が記入してください。
2 検定料振込済証明書貼付票・受験票・写真票	写真は、正面上半身無帽（縦 40 ㍉×横 30 ㍉）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料（本学所定の検定料振込依頼書により振り込み）	30,000 円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関（郵便局を除く。）に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関（郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 検定料の納入は願書受付期間の始まる 3 週間前から行えます。
4 成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの。 専攻科出身者及び大学編入者は、上記書類のほかに専攻科入学又は大学編入以前の出身学校の成績証明書も提出してください。
5 卒業/修了（見込）証明書	出身学校の所定のもの。 専攻科出身者は、上記書類のほかに学士の学位（申請予定）証明書（出身学校所定のもの）も提出してください。

6 志望調書	必要事項を本人が記入してください。
7 返信用封筒 (長形3号 235×120ミリ)	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、350円分の切手(速達郵便料金を含む。)をはり付けてください。受験票等の送付に使用します。
8 あて名票	合格、その他の通知に使用しますので、4か所すべてに所要事項を記入してください。
9 業績報告書	在職中に本人が行った業務内容の概要(1,000字以内・関係資料がある場合は添付してください)。その他本人の業績を表す文書の写し(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)。
10 在職期間証明書等	企業等での2年以上の勤務経験を確認できる書類
11 推薦書・就学許可証	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの

注) a. 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

b. 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形2号(330ミリ×240ミリ)の封筒により、書留・速達郵便とし、封筒の表に「大学院技術経営研究科入学願書在中」と記入してください。受付期間内必着とします。

持参の場合：受付時間は10:00～16:00です。

4. 選抜の方法

書類審査、小論文、面接の各結果を総合して判定します。

小論文：システム安全に関わる小論文

面接：職務に関わる専門知識及びシステム安全についての試問を含む

5. 選抜試験の日時及び場所

(1) 日時：平成18年2月6日(月)

小論文 10:00～11:00 面接 13:00～

(2) 場所：長岡技術科学大学

6. 合格者の発表

日時：平成18年2月23日(木)10:00

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。本学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

(電話等による合否の照会には、一切応じません。)

平成 18 年度第 1 学年（推薦）入学者選抜試験概況

1. 合格発表

平成 17 年 12 月 8 日（木）

2. 志願者数・合格者数

課 程	募集人員	志 願 者	受 験 者	合 格 者	備 考
機械創造工学課程	7	21	21	8	
電気電子情報工学課程	7	28	28	11	
材料開発工学課程	5	5 (2)	5 (2)	7 (2)	機械創造工学課程からの第 2 志望合格者 2 人を含む。 電気電子情報工学課程からの第 2 志望合格者 1 人を含む。
建設工学課程	5	12 (1)	12 (1)	8 (1)	
環境システム工学課程	5	2	2	5	電気電子情報工学課程からの第 2 志望合格者 3 人を含む。
生物機能工学課程	5	6	6	6	機械創造工学課程からの第 2 志望合格者 1 人を含む。
経営情報システム工学課程	5	14 (1)	14 (1)	7	
全課程（普通高校）	若干人	21 (5)	21 (5)	7 (3)	
合 計	40	109 (9)	109 (9)	59 (6)	

（注）（ ）内は、女子を内数で示す。

諸 報

受賞関係

賞等の名称及び受賞年月日	表彰団体名	被表彰者名	受賞の対象となった研究題目等
E-Learn 2005 Outstanding Paper Award 平成 17 年 10 月 26 日	World Conference on E-learning in Corporate, Government, Healthcare, & Higher Education	経営情報系・助教授 植野真臣	Intelligent LMS with an agent that learns from log data

永年勤続者表彰

平成 17 年 11 月 23 日付けで、次の者に対して表彰状と記念品が授与された。(敬称略)

石崎幸三(副学長)
伊藤義郎(機械系)
石黒 孝(電気系)
大橋晶良(環境・建設系)
中村和男(経営情報系)
小池エミ子(総務課)
本田吉栄(会計課)
桐生昌治(会計課)
岸 孝英(学務課)
峰村文康(学生支援課)
齋藤智夫(入試課)

平成 17 年度職員レクリエーション行事「ボウリング大会」

・日時 平成17年11月11日(金) 18時30分
場所 NAGAOKA 遊 BOWL (長岡市喜多町)
参加者 36 名

セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会

・日時 平成17年11月18日(金) 15時
場所 マルチメディアシステムセンター
演題 「セクシュアル・ハラスメントのないキャンパスへ」
講師 国立大学法人お茶の水女子大学 生活科学部長・教授 戒能民江
参加者 55 名

A E D (自動体外式除細動器) 講習会

・日時 平成17年12月26日(月) 13時30分
場所 総合研究棟 7 階会議室
内容 A E D を利用した心肺蘇生法
参加者 10 名

長岡技術科学大学・地元(深才地区)懇和会
本学周辺の町内会長及び長岡市関係者と本学関係者との地元懇和会が次のとおり開催され、活発な意見交換が行われた。

・日時 平成17年10月20日(木) 15時30分
場所 マルチメディアシステムセンター

公開講演会

・日時 平成17年12月21日(水) 14時
場所 マルチメディアシステムセンター
演題 「地球時代の日本 異質な日本、同質化する日本」
講師 平山征夫特任教授

21 世紀 COE プログラム国際シンポジウム (ハイブリッド超機能材料創成と国際拠点形成)

[第 8 回]
・期日 平成17年10月17日(月)~21日(金)
場所 メキシコ ミチオカン大学
参加者 120 名

[第 9 回]
・期日 平成17年11月3日(木)~5日(土)
場所 中国 北京化工大学
参加者 200 名

[第 10 回]
・期日 平成17年12月2日(金)~4日(日)
場所 中国 鄭州大学
参加者 100 名

長岡技術科学大学特許実務セミナー

(第 2 回目)
・期日 平成17年10月7日(金)
時間 13 時~15 時
場所 情報処理センター実習室 2
参加者 11 名

公開講座

(公開講座)

- ・日時 平成17年10月30日(日)
13時～17時
- 場所 長岡市立中央公民館
- テーマ 「医用・ヘルスケア機器の現状と課題」
- 対象者 社会人一般
- 受講者 13名

(公開講座)

- ・日時 平成17年11月12日(土)
平成17年11月19日(土)
平成17年11月26日(土)
各日とも14時～16時
- 場所 長岡技術科学大学
- テーマ 「先端技術の最先端」
- 対象者 社会人一般
- 受講者 26名

技術開発懇談会

- ・期日 平成17年10月25日(火)
時間 18時～20時
- 場所 ニュー大黒ビル6F会議室
- テーマ 「最近の加工用レーザーと、それによる加工」
- 話題提供者 機械系 教授 伊藤義郎
- 参加者 12名
- ・期日 平成17年11月8日(火)
時間 18時～20時
- 場所 ニュー大黒ビル6F会議室
- テーマ 「遺伝子組換え技術とその応用」
- 話題提供者 生物系 教授 渡邊和忠
- 参加者 10名
- ・期日 平成17年12月12日(月)
時間 18時～20時
- 場所 アトリウム長岡
- テーマ 「コンパクトな都市とは」
- 話題提供者 環境・建設系 教授 中出文平
- 参加者 17名

(社) 新潟県電子機械工業会大学見学会

- ・期日 平成17年11月17日(木)
時間 14時～16時30分
- 場所 本学2センター5研究室
- 講師
柳NTICセンター長
機械、電気、生物、環境・建設系教員

参加者 19名

長岡技術科学大学テクノインキュベーションセンター新春トーク

- ・日時 平成18年1月4日(水)
14時～15時30分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- テーマ 「世界三大熱帯雨林から学ぶ(西アフリカ・ボルネオ・アマゾン)」
- 講師 (株)アクアデザインアミノ
代表取締役 天野 尚 氏
- 参加者 111名

匠陵講演会

- ・日時 平成17年10月14日(金) 15時
- 場所 A講義室
- 演題 「知能ロボットによる無人化工場への挑戦」
- 講師 ファナック株式会社
代表取締役社長 稲葉善治氏
- 参加者 130名
- ・日時 平成17年10月28日(金) 14時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「科学技術政策の展望と大学」
- 講師 総合科学技術会議
議員 阿部博之氏
- 参加者 80名

特別講演会

- ・日時 平成17年10月31日(月) 14時40分
- 場所 電気系大学院講義室
- 演題 「R&Dの“D”～或る技術者の45年間」
- 講師 元電気化学工業株式会社総合研究所
所長 西村三千男氏
- 参加者 40名
- ・日時 平成17年11月11日(金) 15時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「電子部品のスピード調達ビジネスモデルについて」
- 講師 株式会社チップワンストップ
代表取締役社長 高乗正行氏
- 参加者 50名
- ・日時 平成17年12月5日(月) 10時30分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「世界の水問題と国連」
- 講師 グローバルウオータ・ジャパン 国連

テクニカルアドバイザー 吉村和就氏

参加者 75名

語学センター講演会

- ・日時 平成17年11月15日(火) 16時20分
- 場所 語学センターLL1教室
- 演題 「企業のグローバル化と英語」
- 講師 株式会社日立総合経営研修所外国語研修所 所長 杉本憲司氏
- 参加者 60名

「学習者等の視点に立った適切な e-Learning の在り方に関する調査研究」第1回事業推進委員会

- ・日時 平成17年10月18日(火) 15時30分
- 場所 KKRホテル東京
- 議事
 1. 実施計画等について
 2. 事業の実施体制及び今後のスケジュール等について
 3. 海外の実地調査及び参加者について
 4. NIME事業の説明について
 5. 基本協力協定の締結について

「学習者等の視点に立った適切な e-Learning の在り方に関する調査研究」第1回研究会

- ・日時 平成17年11月14日(月) 14時
- 場所 KKRホテル東京
- 議事
 1. 実施計画等について
 2. 事業の実施体制及び今後のスケジュール等について
 3. 海外の実地調査及び参加者について
 4. 海外訪問機関における調査事項について
 5. 国内の機関における調査項目について
 6. NIME事業の説明について
 7. その他

第2回就職ガイダンス

- ・日時 平成17年11月2日(水) 13時30分
- 場所 講義棟A講義室
- 内容 「ライバルと差のつく面接」
- 講師 株式会社 広報しえん 岡田美栄氏

交通安全講演会

- ・日時 平成17年12月7日(水) 13時30分
- 場所 講義棟A講義室
- 演題 「雪道での安全運転について」
- 講師 社団法人日本自動車連盟新潟支部 事業係長 梨本信栄氏

学生指導研究会

- ・日時 平成17年12月14日(水) 13時30分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「学生相談における教師とカウンセラーの連携」
- 講師 本学非常勤カウンセラー 福間芽美氏

平成17年度サークルリーダー研修会

- ・日時 平成17年11月12日(土)
- 場所 体育館
- 演題 「リーダーシップを高めるためにやる気の出る体質、人間関係を知る」
- 講師 NPO法人 子育て広場キッズスタディオン 副理事長 金巻知子氏

第7回長岡国際祭り

- ・日時 平成17年11月26日(土) 17時
- 場所 長岡市厚生会館
- 参加者 市民含む約400名

平成17年度留学生等交流懇談会

- 留学生が日常生活上お世話になっている学外関係者を招待し、関係者間で意見交換を行い、相互理解を深めると同時に、感謝の意を表すことを目的として、次の通り開催した。
- ・日時 平成17年12月7日(水) 17時
 - 会場 セコムホール
 - 出席者 外国人留学生、外国人研究者、長岡市国際文化課長、長岡市国際交流協会事務局長、長岡市国際交流センター長、長岡技術科学大学協力会会長、長岡技術科学大学同窓会会長、越越協会会長、新潟県消費者協会長岡支部長、国際ソロプチミスト長岡会長、長岡西ロータリークラブ会長、長岡東ロータリークラブ会長、長岡柏ライオンズクラブ会長、地元懇話会会長、深才地区連合町内会会長、むつみ会、コーディネーター、下宿・貸間組合副組合長、長岡いずみ会、越後民謡やよい会、学長、副学長、教職員、チューター等約250名

平成 17 年度科学研究費補助金交付決定一覧（追加分）

（単位：千円）

研究種目	課題番号	研究代表者	研究課題名	交付決定額(研究期間)
萌芽研究	17656213	植松 敬三	粒子配向ブロンズ系非鉛圧電体の高磁場中形成による創成	2300(H17-18)
		1件	計	2,300

日誌

- | | |
|--|--|
| 10月2日(日) J A B E E 実地審査(建設工学課程, ~ 3日) | 第5回学長選考会議(東京ガーデンパレス) |
| 3日(月) 実務訓練開始(全課程) | 北信越地区国立大学工学部長会議(東京ガーデンパレス) |
| 6日(木) 全国国立大学学生指導担当副学長協議会(鹿児島大学, ~ 7日) | 研究協力部課長会議(広島ガーデンパレス) |
| 7日(金) 第29回国立大学53工学系部長会議(神戸大学) | 28日(金) 匠陵講演会 |
| 特許実務セミナー | 第41回国立工業大学長懇談会(ステーションホテル小倉) |
| 12日(水) 第43回全国学生指導研究集会(福島テルサほか, ~ 14日) | 30日(日) 公開講座(長岡市立中央公民館) |
| 14日(金) 匠陵講演会 | 31日(月) 大学機関別認証評価に係る訪問調査(~ 11月2日) |
| 17日(月) 21世紀COEプログラム国際シンポジウム(メキシコ, ~ 21日) | 特別講演会 |
| 18日(火) 国大協関東・甲信越地区支部会議(如水会館) | 11月1日(火) 第1学年出願受付(推薦, ~ 4日) |
| 平成17年度大学マネジメントセミナー(企画・戦略編)(学術総合センター) | 2日(水) 第2回就職ガイダンス |
| 長岡技術者協会工場見学会(株北越工業ほか) | 3日(木) 21世紀COEプログラム国際シンポジウム(中国, ~ 5日) |
| 2005産学官OMIAIパート(万代シルバーホテル) | 7日(月) 国大協総会(ホテルニュー長崎) |
| 「学習者等の視点に立った適切なe-Learningの在り方に関する調査研究」第1回事業推進委員会(KKRホテル東京) | 8日(火) 技術開発懇談会(ニュー大黒ビル) |
| 19日(水) J A B E E 実地審査(電気電子情報工学課程, ~ 21日) | 9日(水) 平成18年度大学入試センター試験リスニング担当試験監督者説明会 |
| 平成17年度大学マネジメントセミナー(総務編)(学術総合センター) | 10日(木) 新潟ビジネスメッセ2005(新潟市産業振興センター, ~ 11日) |
| 20日(木) 長岡技術科学大学・地元(深才地区)懇和会 | 知的財産シンポジウム2005(新潟市産業振興センター) |
| 25日(火) 関東甲信越地区学生関係副学長部課長会議(新潟ワシントンホテル) | 11日(金) 職員レクリエーションボーリング大会(Nagaoka遊BowI) |
| 平成17年度新潟県内国立大学法人等係長研修(新潟大学, 妙高少年自然の家, ~ 28日) | 平成17年度NPO主催第3回セミナー(東京医科歯科大学) |
| 技術開発懇談会(ニュー大黒ビル) | 特別講演会 |
| 26日(水) 全国図書館大会茨城大会(茨城県民文化センター, ~ 28日) | 12日(土) 平成17年度サークルリーダー研修会 |
| 27日(木) 第6回経営協議会(東京ガーデンパレス) | 公開講座 |
| | 14日(月) 産学官連携サミット(東京プリンスホテル) |
| | 「学習者等の視点に立った適切なe-Learningの在り方に関する調査研究」第1回研究会(KKRホテル東京) |
| | 15日(火) 平成17年度大学マネジメントセミナー(国際交流編)(学術総合センター) |
| | 語学センター講演会 |
| | 16日(水) 第1学年入試(推薦) |

- 平成 17 年度大学マネジメントセミナー（教育・学生支援編）(学術総合センター)
- 17 日（木）ものづくりネットワーク交流フェア in 燕三条（新潟県央地域地場産業振興センター，18 日）
 (社)新潟県電子機械工業会(N E I A)大学見学会
 国際企画担当部課長会議（国立オリンピック記念青少年総合センター，～18 日）
 平成 17 年度大学マネジメントセミナー（研究支援・産官学連携編）(学術総合センター)
- 18 日（金）セクシュアル・ハラスメントの防止に関する講演会
- 19 日（土）公開講座
- 21 日（月）J A B E E 実地審査（機械創造工学課程）(～22 日)
 平成 17 年度関東・甲信越地区管理事務協議会（宇都宮ホテルニューイタヤ）
- 22 日（火）永年勤続者表彰式
- 25 日（金）J A B E E 実地審査（環境システム工学課程）(～26 日)
 中部圏国立大学工学系事務協議会（三重大学）
- 26 日（土）公開講座
 第 7 回長岡国際祭り（長岡市厚生会館）
- 30 日（水）2005 産学官技術交流フェア(東京ビックサイト)
 平成 18 年度大学入試センター試験リスニング担当試験監督者予行演習
- 12 月 1 日（木）第 2 回国立大学法人等監事協議会総会（学士会館）
- 2 日（金）21 世紀 COE プログラム国際シンポジウム（中国，～4 日）
- 5 日（月）特別講演会
- 6 日（火）にいがた産学交流 2005（ハイブ長岡）
- 7 日（水）平成 17 年度新潟県内国立大学法人等職員に係る退職準備セミナー(新潟大学医学部有壬記念館)
 平成 17 年度留学生等交流懇談会
 交通安全講演会
- 8 日（木）第 1 学年（推薦）合格発表
- 10 日（土）青少年のための科学の祭典（リージョンプラザ上越，～11 日）
- 12 日（月）技術開発懇談会（アトリウム長岡）
 平成 17 年度新潟県内国立大学法人等中堅職員研修（～14 日）
- 14 日（水）学生指導研究会
- 15 日（木）新潟県内高等教育機関懇談会（新潟工科大学）
- 19 日（月）学位記授与式
 平成 17 年度新潟県内国立大学法人等職員に係る生涯生活設計セミナー（新潟大学）
- 21 日（水）公開講演会
- 22 日（木）第 2 学期授業終了
- 26 日（月）A E D（自動対外式除細動器）講演会
- 28 日（水）仕事納め
- 1 月 4 日（水）仕事始め
 賀詞交換会
 テクノインキュベーションセンター新春トーク